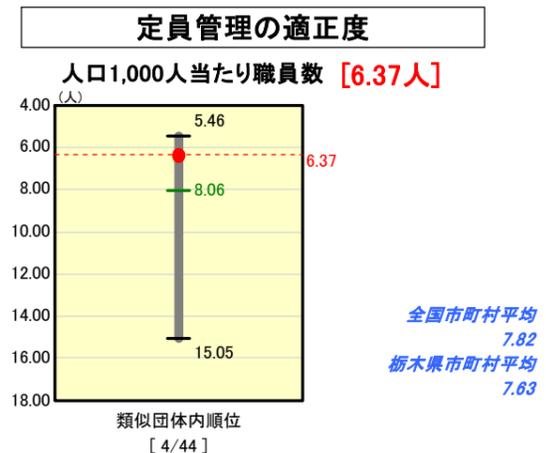
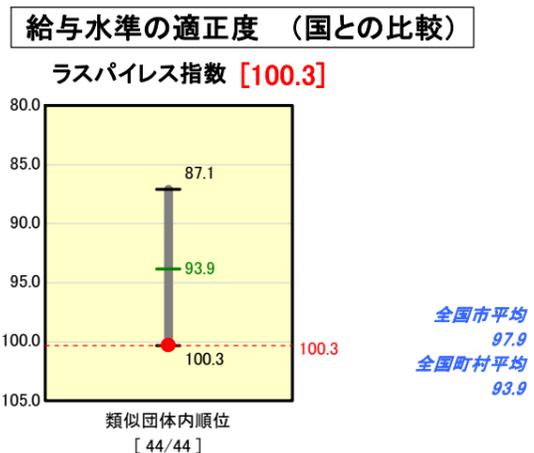
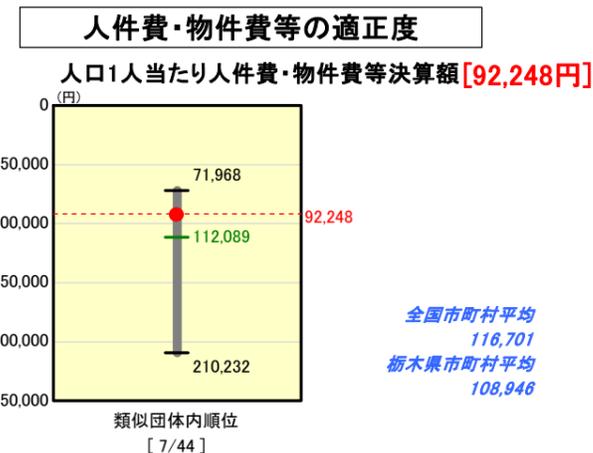
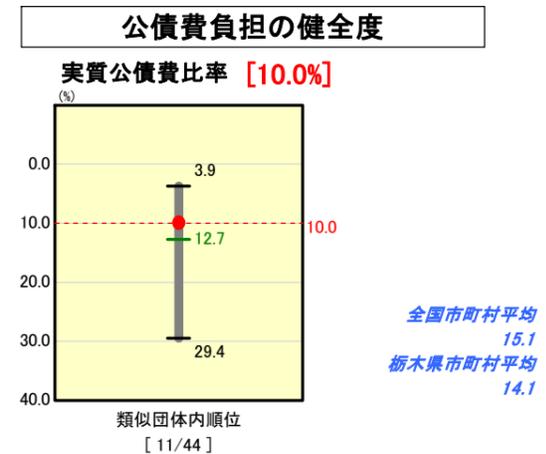
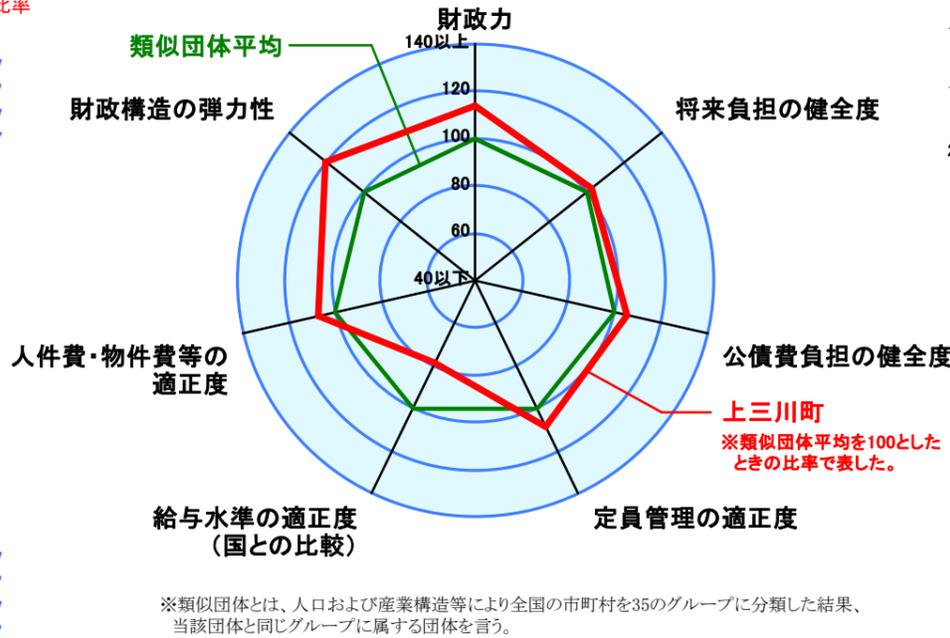
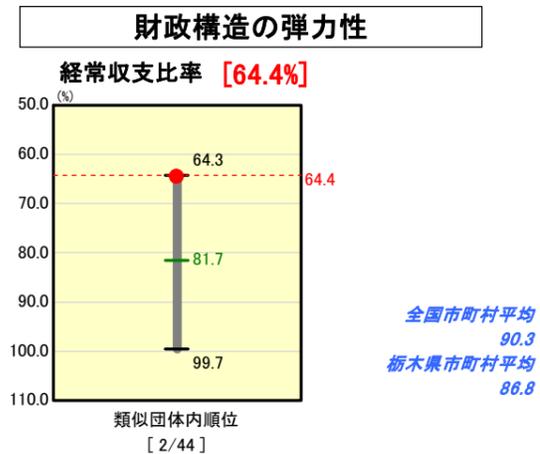
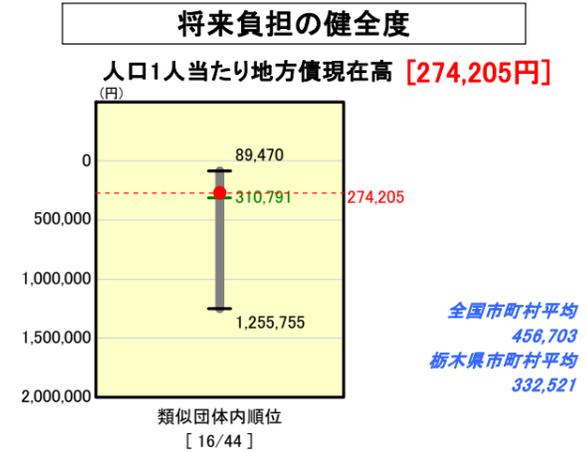
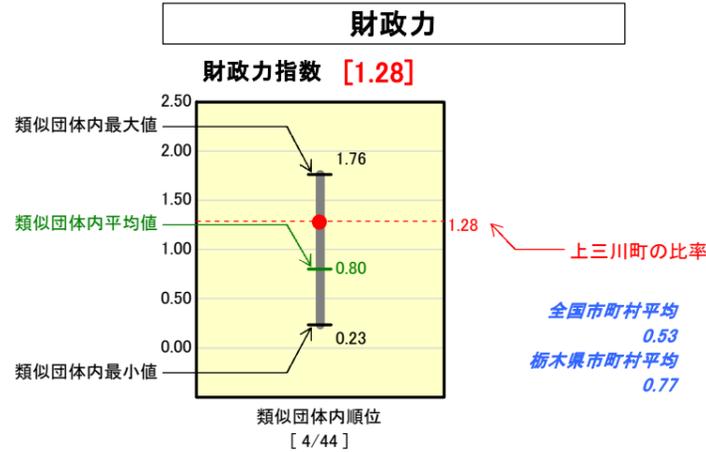


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

栃木県 上三川町

人口	31,570	人(H19.3.31現在)
面積	54.52	km ²
歳入総額	10,654,459	千円
歳出総額	10,145,188	千円
実質収支	398,073	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

・**財政力指数**
ここ数年連続しての伸びとなっている。要因としては、大企業の事業所が立地することなどがあり、類似団体と比較し高い数値を示しているが、指数は経済動向次第で大きく変動する場合があります。町税の収納確保に努め、安定した財源確保を図る。

・**経常収支比率**
企業業績等による町税の増収により、類似団体平均を上回っている。人件費は減少しているが、扶助費、公債費は増加しており、行政評価等の活用などにより、更なる経常経費の削減に努める。

・**ラスパイレズ指数**
職員の給与に関しては、平成18年4月の級別職務分類表の見直しにより、以前からの年功的な体系による上下の職務間での給与水準の重なりを是正したが、現在でも年齢層の高い階層での重なりが残っている。今後とも、こうした重なりは是正の推移や類似団体の給与水準等を踏まえ、昇給抑制等を検討のうえ給与水準の縮減に努める。

・**実質公債費比率**
類似団体平均を下回っているが、単年度での数値は、前年度比較で上昇している。今後とも、起債事業の適切な選択と、町債管理基金の積み立てに努める。

・**人口1人当たり地方債残高**
前年度の数値から5%程度減少しているが、18、19年度に(仮称)総合保健福祉センター建設事業を実施したことなどにより、19年度末残高は増加する。20年度以降は適債事業を厳選し、類似団体を上回らないよう取り組んでいく。

・**人口1,000人当たり職員数**
13年度から17年度の5年間で、12年度に比較し10.6%の削減を実施している。更に、17年度に定員適正化計画を策定し、22年度当初に1.7%純減する目標を掲げており、団塊の世代の大量退職や住民サービスの低下なども考慮しながら、引き続き計画的な職員定数管理を行っていく。

・**人口1人当たり人件費、物件費等決算額**
前年度とほぼ同額となっている。ごみ収集業務委託や給食センターの建設等で人件費を抑制しており、今後も民間委託の推進等により、事務事業の節減を図っていく。